

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年12月26日
【四半期会計期間】	第18期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	株式会社フォーバルテレコム
【英訳名】	FORVAL TELECOM, INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 谷井 剛
【本店の所在の場所】	東京都千代田区神田錦町三丁目26番地
【電話番号】	03(3233)1301
【事務連絡者氏名】	取締役 山本 忠幸
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区神田錦町三丁目26番地
【電話番号】	03(3233)1301
【事務連絡者氏名】	取締役 山本 忠幸
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成24年8月10日に提出した第18期第1四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものがあります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、優成監査法人により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式(表示情報ファイルを含む)を提出いたします。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績の状況の分析

(1) 業績の状況

(2) 財政状態の分析

第4 経理の状況

2. 監査証明について

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

注記事項

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

(セグメント情報等)

セグメント情報

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第17期 第1四半期連結 累計期間	第18期 第1四半期連結 累計期間	第17期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	3,294,180	2,959,506	13,470,612
経常利益(千円)	<u>46,245</u>	<u>57,759</u>	<u>302,292</u>
四半期(当期)純利益(千円)	<u>12,359</u>	<u>29,255</u>	<u>177,552</u>
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	<u>11,132</u>	<u>27,770</u>	<u>176,632</u>
純資産額(千円)	<u>1,796,696</u>	<u>1,735,120</u>	<u>1,840,895</u>
総資産額(千円)	<u>5,974,221</u>	<u>5,248,024</u>	<u>6,063,327</u>
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	<u>74.04</u>	<u>175.26</u>	<u>1,063.62</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	<u>29.9</u>	<u>32.9</u>	<u>30.2</u>

後略

(訂正後)

回次	第17期 第1四半期連結 累計期間	第18期 第1四半期連結 累計期間	第17期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	3,294,180	2,959,506	13,470,612
経常利益(千円)	<u>52,565</u>	<u>61,693</u>	<u>327,572</u>
四半期(当期)純利益(千円)	<u>18,679</u>	<u>33,190</u>	<u>260,098</u>
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	<u>17,452</u>	<u>31,704</u>	<u>259,178</u>
純資産額(千円)	<u>1,626,050</u>	<u>1,644,633</u>	<u>1,746,474</u>
総資産額(千円)	<u>5,803,575</u>	<u>5,157,537</u>	<u>5,968,906</u>
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	<u>111.90</u>	<u>198.82</u>	<u>1,558.11</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	<u>27.8</u>	<u>31.7</u>	<u>29.1</u>

後略

第2【事業の状況】

3【財政状態、経営成績の状況の分析】

(訂正前)

前略

(1) 業績の状況

中略

これらにより、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が29億59百万円（前年同四半期比10.2%減）、営業利益が60百万円（前年同四半期比16.6%増）、経常利益が57百万円（前年同四半期比24.9%増）、四半期純利益が29百万円（前年同四半期比136.7%増）となりました。

中略

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は52億48百万円となり、前連結会計年度末比8億15百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少（1億73百万円）及び受取手形及び売掛金の減少（5億64百万円）によるものであります。

中略

少数株主持分の残高は8百万円となりました。また、純資産の残高は17億35百万円となり、前連結会計年度末比1億5百万円の減少となりました。これは主に、四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

(訂正後)

前略

(1) 業績の状況

中略

これらにより、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が29億59百万円（前年同四半期比10.2%減）、営業利益が64百万円（前年同四半期比10.7%増）、経常利益が61百万円（前年同四半期比17.4%増）、四半期純利益が33百万円（前年同四半期比77.7%増）となりました。

中略

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は51億57百万円となり、前連結会計年度末比8億11百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少（1億73百万円）及び受取手形及び売掛金の減少（5億64百万円）によるものであります。

中略

少数株主持分の残高は8百万円となりました。また、純資産の残高は16億44百万円となり、前連結会計年度末比1億1百万円の減少となりました。これは主に、四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

第4【経理の状況】

2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について優成監査法人による四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について優成監査法人による四半期レビューを受けております。

また、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表については優成監査法人による四半期レビューを受け、改めて四半期レビュー報告書を受領しております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
中略		
固定資産		
中略		
無形固定資産		
のれん	213,219	203,555
その他	127,892	126,402
無形固定資産合計	<u>341,111</u>	<u>329,957</u>
中略		
固定資産合計	<u>1,644,575</u>	<u>1,618,981</u>
中略		
資産合計	<u>6,063,327</u>	<u>5,248,024</u>
中略		
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,354	542,354
資本剰余金	42,353	42,353
利益剰余金	1,250,344	1,146,054
株主資本合計	<u>1,835,052</u>	<u>1,730,762</u>
中略		
純資産合計	<u>1,840,895</u>	<u>1,735,120</u>
負債純資産合計	<u>6,063,327</u>	<u>5,248,024</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
中略		
固定資産		
中略		
無形固定資産		
のれん	118,798	113,068
その他	127,892	126,402
無形固定資産合計	<u>246,690</u>	<u>239,470</u>
中略		
固定資産合計	<u>1,550,154</u>	<u>1,528,494</u>
中略		
資産合計	<u>5,968,906</u>	<u>5,157,537</u>
中略		
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,354	542,354
資本剰余金	42,353	42,353
利益剰余金	1,155,923	1,055,567
株主資本合計	<u>1,740,631</u>	<u>1,640,257</u>
中略		
純資産合計	<u>1,746,474</u>	<u>1,644,633</u>
負債純資産合計	<u>5,968,906</u>	<u>5,157,537</u>

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 1 四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
売上高	3,294,180	2,959,506
売上原価	2,718,503	2,399,339
売上総利益	575,677	560,166
販売費及び一般管理費	523,807	499,703
営業利益	51,869	60,463
中略		
経常利益	46,245	57,759
中略		
税金等調整前四半期純利益	45,832	57,699
中略		
少数株主損益調整前四半期純利益	12,386	29,397
中略		
四半期純利益	12,359	29,255

(訂正後)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
売上高	3,294,180	2,959,506
売上原価	2,718,503	2,399,339
売上総利益	575,677	560,166
販売費及び一般管理費	517,487	495,769
営業利益	58,189	64,397
中略		
経常利益	52,565	61,693
中略		
税金等調整前四半期純利益	52,152	61,634
中略		
少数株主損益調整前四半期純利益	18,706	33,331
中略		
四半期純利益	18,679	33,190

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	12,386	29,397
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,254	1,627
その他の包括利益合計	1,254	1,627
四半期包括利益	11,132	27,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,107	27,628
少数株主に係る四半期包括利益	25	141

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	18,706	33,331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,254	1,627
その他の包括利益合計	1,254	1,627
四半期包括利益	17,452	31,704
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,427	31,563
少数株主に係る四半期包括利益	25	141

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

(訂正前)

前略

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	42,397千円	37,615千円
のれんの償却額	<u>11,435</u>	<u>9,631</u>

(訂正後)

前略

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
減価償却費	42,397千円	37,615千円
のれんの償却額	<u>5,115</u>	<u>5,696</u>

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

中略

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	63,096
「その他」の区分の利益	-
セグメント間取引消去	209
のれんの償却額	<u>11,435</u>
四半期連結損益計算書の営業利益	<u>51,869</u>

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

中略

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	69,434
「その他」の区分の利益	1,680
セグメント間取引消去	1,674
のれんの償却額	<u>8,964</u>
四半期連結損益計算書の営業利益	<u>60,463</u>

後略

(訂正後)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

中略

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	63,096
「その他」の区分の利益	-
セグメント間取引消去	209
のれんの償却額	<u>5,115</u>
四半期連結損益計算書の営業利益	<u>58,189</u>

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

中略

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	69,434
「その他」の区分の利益	1,680
セグメント間取引消去	1,674
のれんの償却額	<u>5,030</u>
四半期連結損益計算書の営業利益	<u>64,397</u>

後略

(1株当たり情報)

(訂正前)

前略

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額(円)	74.04	175.26
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	12,359	29,255
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	12,359	29,255
普通株式の期中平均株式数(株)	166,932	166,932

後略

(訂正後)

前略

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額(円)	111.90	198.82
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	18,679	33,190
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	18,679	33,190
普通株式の期中平均株式数(株)	166,932	166,932

後略

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年12月25日

株式会社フォーバルテレコム

取締役会 御中

優成監査法人

指定社員 公認会計士 須永 真樹
業務執行社員

指定社員 公認会計士 小松 亮一
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フォーバルテレコムの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フォーバルテレコム及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成24年8月8日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が四半期連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。